

2022年7月15日
日銀ネットの有効活用に向けた協議会

日銀ネットの有効活用に向けた協議会のWGの新設 および新規メンバーの追加公募について

1. はじめに

- 日銀ネットは、2015年10月の新日銀ネット全面稼動時より、外国為替円決済、海外預り金関係の当座預金取引、国債振替決済における支払指図や実行済み通知の一部にISO20022電文を採用している。日銀ネットの資金系電文フォーマットについては、ISO20022を巡る国際的な動向も踏まえて、今後、そのバージョンを改訂する必要があると考えられる。「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」（以下「協議会」）では、バージョン改訂にかかる今後のスケジュールや電文規格、先行きのバージョン改訂への対応方針等について、具体的な議論を行っていくため、検討主体となるWGを新設するとともに、新規メンバーを追加公募する¹。

2. ISO20022 WGの新設

- 協議会に検討結果を報告する主体として、既存の3つのWG²に加えて、ISO20022電文にかかる議論を集中的に行う「ISO20022 WG」を新設する。

「ISO20022 WG」（*Working Group on ISO20022*）

（当面想定されるテーマ）

- 日銀ネットの資金系電文フォーマットにおけるISO20022のバージョン改訂（今後のスケジュール、電文規格等）に向けた議論を行う。
- 国際的な動向も踏まえた、先行きのISO20022のバージョン改訂への対応方針等に関する議論を行う。

3. 新規メンバーの追加公募

- WGの新設を踏まえ、日銀ネットの利用金融機関等に対して、広く参加メンバーを追加公募する。
—— 新たに参加を希望する金融機関等は、別紙の要領に従いご応募ください。

以上

¹ 7月8日に書面開催された協議会の第23回会合で合意されたものである。詳しくは、議事概要（日本銀行ホームページ上に公表）を参照。

² 「円とJGBのグローバルな有効活用WG」、「円建て顧客送金・銀行間送金WG」、「クロスボーダー決済インフラWG」。

(別紙)

2022年7月15日

日本銀行決済機構局

(「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」事務局)

「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」の 新規メンバーの追加公募要領

日本銀行金融ネットワークシステム（以下「日銀ネット」）の利用金融機関等と業界団体で構成される「日銀ネットの有効活用に向けた協議会」（事務局：日本銀行決済機構局。以下「協議会」）では、2013年8月の第1回会合以来、23回の会合等を通じて、日銀ネットの有効活用方法について議論・検討を続けてきました。

協議会では、今後、日銀ネットの資金系電文フォーマットについて、ISO20022のバージョン改訂にかかる今後のスケジュールや電文規格、先行きのバージョン改訂への対応方針等を検討し、その結果を協議会に報告する検討主体としてWG（ISO20022 WG）を新設のうえ、議論・検討を進めていく予定です。日本銀行としても、日銀ネットのさらなる有効活用を通じ、わが国決済システム全体の安定性や効率性を一層向上させる観点から、協議会での取組みを引き続き支援して参ります。

つきましては、下記のとおり、ISO20022 WGでの議論・検討にご関心のある金融機関等を協議会の新規メンバーとして追加公募致します。

記

- ① 応募要件：日銀ネットの利用金融機関等とします。
- ② 応募期限：8月1日（月）正午
- ③ 宛 先：日本銀行決済機構局 決済システム課
【電子メールアドレス】 post.pssd57@boj.or.jp
—— ご質問がある場合は、上記の電子メールアドレスにお問い合わせください。
- ④ 応募方法：③の電子メールアドレス宛てにご応募ください。その際、件名は「ISO20022 WG への参加応募（法人名）」としてください。
- ⑤ その他：協議会の新規参加メンバーには、ISO20022WGにご参加いただきます。

以 上